

<会長あいさつ>

宮本看護専門学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る、平成23年6月、開校20年目の節目に「第1回同窓会」を開催する事が出来ました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

今回、学校のご協力を頂き同窓会の活動状況をホームページに掲載する運びとなりました。ホームページを通して多くの方々に同窓会の近況をお知らせし、遠方でご活躍の皆様にも情報提供をしていけたら幸いです。

同窓会の運営に関しましては、未だ駆け出しでございますので、皆様にはご不便をおかけすることがあると存じますが、今後ともご協力をお願い致します。

多忙な時期ではございますが、お体を大切にご活躍ください。

宮本看護専門学校同窓会 会長
第1期生 山口 洋子

<副会長あいさつ>

皆さん、お元気ですか？私は何とか看護師を続けています。高齢者が家に戻れない現状と病院での役割をつくづく感じています。

私は、20期生の「戴帽式」に出席させて頂きました。懐かしい先生方を始め、取手協同病院でお世話になった看護師さん、1期生の先輩方、宮本病院の先生方にお会いしとても懐かしく温かい気持ちになりました。長い歳月を忘れ昔に戻れた気がします。「戴帽式」も厳かに、そして手話を用いての「未来へ」は同窓会同様に感動をもらいました。偶然にも同級生の子供が戴帽生にいたのもビックリでした。看護の原点を見つめ直す良い機会になりました。

また皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

宮本看護専門学校同窓会 副会長
第2期生 和田 洋子

平成23年6月12日（日）、ホテルグランド東雲（つくば市）にて第1回宮本看護専門学校同窓会が行われました。1期生から17期生の同窓生、学校の先生方、宮本看護専門学校をすでに去っておられる先生方もかけつけて下さいました。

大勢の参加者のもと、在校生によるキャンドルサービス、斉藤先生の社交ダンスも披露され大いに盛り上がりました。同窓生は数年ぶりの再会を喜びあい、お互いの活躍ぶりや青春時代の思い出話に花が咲いていました。

お世話になった
諸先生方



第1期生の皆さん
と担任の先生

卒業生の活躍



第3期生 相澤宏実

私は看護学校卒業後現在のJAとりで総合医療センターに就職し外科病棟に配属されました。就職したころは毎日忙しく、業務をこなすだけで精一杯の日々を過ごしていました。このまま看護師を続けていけるのか？と思ったことも多々ありましたが、先輩方や同僚に支えられて現在まで16年看護師を続けることができています。

就職してから12年間外科病棟で過ごし、手術後に創離開となった患者さんやスキントラブルが改善しない患者さん、ストーマ造設となり精神的ストレスを抱えている患者さん、ストーマ造設を拒んでいる患者さんなどに関わる中で、自分の知識が足りないために適切なケアが提供できない、上手く説明できない、もっと自分に出来ることがあるのではないかと思うようになりました。そんな中、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）が介入したことで、今までケアに難渋していた症例が軽快・治癒していくのを見てすごいと思うと同時に、専門的な知識技術を学びたいと思いWOCNを目指すことにしました。WOCNになるために受験をし、1年間の学生生活を送ることになりましたが、その間も職場の先輩や同僚、家族など多くの方にサポートしていただき無事に卒業し、認定審査に合格することができました。現在はWOCNとして病院内・外で活動の機会を与えていただいています。資格を取得したことで大変なこともあります。いつでも見守ってくれる人がいること、学べる環境にいることに感謝しながらこれからも頑張っていきたいと思いません。



宮本看護専門学校は、この4月に22期生を迎えました。私達、卒業生も宮本看護専門学校で現在、教員として働いています。皆さん、学校に遊びに来て下さい。

- 右から 1期生 櫻井
- 4期生 高城（旧姓：小原）
- 5期生 砂長（旧姓：石下）
- 6期生 関川